

香々美小学校 コミュニティ・ スクールだより

発行:香々美小学校CS事務局



青空高く、山の木々も色づき始めました。
今年度3回目の学校運営協議会(10月)
について、お知らせします。

○ 子どもとセッション ～跳び箱運搬台車作り～

6年生の提案で飛び箱運搬台車を3台作りました。木材は瀬畑さんにいただきました。板を合わせ、電動工具を使ってネジをとめる作業を委員の皆さんと一緒にしました。電動工具の使い方やコツを教えていただき、作業が段々上手になりました。

1 板を合わせる 2 ネジをとめる 3 滑り止めをつける



…作業終了時刻が来
ました。
後日、6年生だけで完
成させました。

4 コマをつける 5 完成



跳び箱の出し入れがしやすくなりました。ありがとうございました。

<CS目指す子ども像>

- ♥ 地域を愛する子ども
- ♥ 人とのつながりを大切にする子ども
- ♥ 困難に負けず、たくましく生きる子ども



○ 8/22香々美フィールドワークについて

大林会長が、フィールドワークの様子(新町・越畑・岩屋)と各場所の説明をプレゼン資料にまとめ、紹介しました。香々美学区の歴史や自然に思いをはせ、子どもたちの地域学習に生かしたいと思います。



<協議内容>

○ ボランティアについて

3年生のぶどう学習や5・6年生の稲刈りについて、子どもたちが体験できたことは良かった。本物の体験を大切にしたい。ボランティアの際は、手伝い過ぎないようにして、子どもが自分で行うようにする。心づかいができる子どもが多い。(以上、主な感想)

多くのボランティアの方々にご協力いただき、環境整備、学習支援が行われました。子どもたちの地域のよさへの理解、豊かな心の醸成につながっています。温かいお力添えをいただき、感謝しています。ありがとうございます。

○ CS目指す子ども像

「困難に負けず、たくましく生きる子ども」について

大切にしたいこととして、「失敗してもよい。子どもにやらせる」「人前で自分の気持ちが言える」「子どもたちに活躍の場を」「生活経験をさせる」「がまん強さを付ける」「ゆとり(時間)が必要」等の意見が出ました。

<CS目指す子ども像実現に向けて>

- ・業間マラソン、楽しんでできる運動や方法で、がまん強さを身に付ける。
- ・メディアコントロール中は、親子の苦労も必要と捉える。
- ・鏡野町教育基本目標「夢をもち ふるさとを愛する心を育み 自ら生き抜く力を拓く人材の育成」と関連させて考える。

今回のご意見を受けて、学校でできる取組について考え、「困難に負けず、たくましく生きる子ども」の育成を目指したいと思います。将来、子どもたちが自分らしく生き生きと活躍することを願い、各家庭、地域での関わりの中でも、できそうなことから取組の程よろしく願いいたします。

<香々美小学校運動場の草取りボランティア>

10月18日をもって終了しました。
ご協力ありがとうございました。

